

ホームページ作成ソフト
(ホームページ・ビルダー)
講習会テキスト

2014 年度版

(141110 更新)

明治大学
メディア支援事務室

目次

目次	2
1.概要	3
1.1 ページ公開の仕組み	3
1.2 HTMLとタグ	4
2. コンテンツ(素材)の作成	4
2.1 準備	4
2.2 ホームページ・ビルダー18 の起動	5
2.3 新たにページを作成する	5
2.4 文字の入力(見出しの作成)	6
2.5 文の入力(段落の作成)	8
2.6 水平線の入力	9
2.7. 壁紙の挿入	10
2.8 ページにタイトルを付ける	11
2.9 ページを保存する	12
2.10 リンクの設定	13
2.11 画像の挿入	15
2.12 ページの保存(画像ファイルも合わせて保存する)	18
3. WWW サーバへのアップロード	19
3.1 .ページのアップロード(転送と公開)	19
3.2 作ったホームページをブラウザ上で見る	23
4. 付録	24
A.文字のフォント(書式)の変更	24
B.リンクの設定(URL で指定)	26
C.表の挿入	27
D.ロゴの作成	28
E. 箇条書きの作成	29
F.サイト機能を使ってホームページを作成する。	30

---本テキストについて---

このテキストは、ホームページ・ビルダー18(ホームページ作成ソフト)を利用してホームページの元となる形式のドキュメントを作成後、大学のWWWサーバへFFFTP(ファイル転送ソフト)を用いて転送してホームページを公開するまでの基本的な手順を記しています。

使用環境はWindows7となりますが、パソコンの基本的な操作、ウェブブラウザ(Microsoft Internet Explorer や Mozilla Firefox、Google Chrome)の操作に関する詳細は、本テキスト中では省略させていただきます。

1.概要

1.1 ページ公開の仕組み

ホームページはWWW(World Wide Web・ワールドワイドウェブ)というシステムを利用して情報を発信する際に作成します。作成したデータをWebサーバ(情報を実際に発信するコンピュータ)上に用意することで、インターネット上のコンピュータから、そのデータが閲覧できるようになります。

■駿河台の利用者がホームページを公開する場合下記の4つの手順が必要です。

1. MyDocs(X:)に **local_html** (学内)、あるいは **public_html** (学外) というフォルダを作成します。
2. そのフォルダの中に作成したホームページのファイルや画像を保存します。
3. **local_html**(又は **public_html**)フォルダを、ファイル転送ソフト(FFFTP)を利用して転送(アップロード)します。
4. ブラウザ上で下記の URL を入力する事で公開されていることを確認します。

学内のみの公開・・・<http://local.kisc.meiji.ac.jp/>~基盤サービス利用アカウント/ファイル名

学外への公開・・・<http://www.kisc.meiji.ac.jp/>~基盤サービス利用アカウント/ファイル名

※ ファイル名を指定しない場合は通常 **index.html** を読み出し、これがトップページとなります。
この講習会では最終的に 23 ページの図 43 のようなホームページを完成させます。

なお、ホームページを公開するに当たっては、「MIND 利用基準」を遵守しなければなりません。
以下を参照してください。

- 学校法人明治大学総合情報ネットワーク(MIND)利用基準
<http://www.meiji.ac.jp/mind/rule/mind-riyouki jun.html>
- 学校法人明治大学総合情報ネットワーク(MIND)運用基準
<http://www.meiji.ac.jp/mind/rule/mind-unyou-ki jun.html>

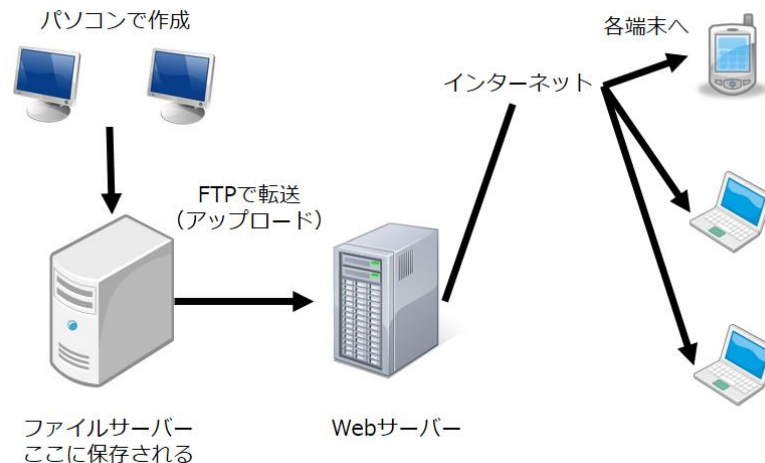


図 1 ページ公開の仕組み

参考:

ユーザーID 前の「 ~ (チルダと呼ぶ)」は shift キー+「へ」キーを半角で入力したものです。(図 2)

shift キーを押さずに「へ」キーを押すと「^ (キャレット、またはハットなどと呼ぶ)」が入力されてしまいます。



図 2 チルダ

1.2 HTMLとタグ

ホームページは HTML というデータ形式で記述します。

右の図 3 のようなものをソースコードと呼びます。

<H1> や </H1> のように < 記号で囲まれた部分を「タグ」と呼び、<HTML>が HTML 文書の開始タグ、<BODY>がホームページ上で実際に表示される本文の開始タグ、</BODY>が本文の終了タグと言うように、データの「どういう要素であるか」を指定しています。

HTML のデータの中身はテキストデータ(装飾のない単純な文字のこと)ですので、「メモ帳」や「秀丸」などのテキストエディタ(テキストデータを編集するソフト)でも作成可能ですが、その場合は「タグ」の種類・意味を理解する必要があります。

この講習で使う「ホームページ・ビルダー」は、「タグ」を知らなくても、マウスを使用して直観的な操作でデータにタグを自動的に埋め込みながらホームページの作成行なえるソフトです。

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>私のホームページ</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<H1>ようこそ</H1>
<IMG SRC="my_face.gif">
<HR>
このホームページの説明
・
・
</BODY>
</HTML>
```

図 3 HTML タグ

2. コンテンツ(素材)の作成

学内用に公開するホームページ(ホームページで表示される文章ファイル・画像・等)の作成を行います。注意することは、コンテンツ(素材)やフォルダの名前は全て半角英数で入力するということです。全角・日本語等で名前を入力するとホームページを公開した時に正しく表示されないことがあります。また環境によっては大文字小文字をしっかりと区別することが必要な場合もあります。

2.1 準備

マイドキュメントに local_html (学内に公開するためのフォルダ)を作成してください。

ウィンドウ上部メニューバーの「ホームタブ」を開くと見つかる[新しいフォルダー]をクリックし、作成されたフォルダを半角英数で「local_html」と名前を変更する。(図 4)

以後、作成したページや画像は全てこのフォルダに保存します。また、サーバへの転送もこのフォルダをまるごと行います。

注意：

一つのフォルダにすべてのコンテンツが入っていないとホームページを更新した時に画像が表示されないなどの不具合が生じます。

サイト機能の紹介：

ホームページ・ビルダーには上記でフォルダを作成するのと同じ目的で「サイト作成」という機能を利用することもできます。

サイト作成をするとサイト単位でファイルの読み込みができ、またサイト内のファイルのツリー構造が確認できます。詳細は「付録 F. サイト機能を使ってホームページを作成する」を参考にしてください。

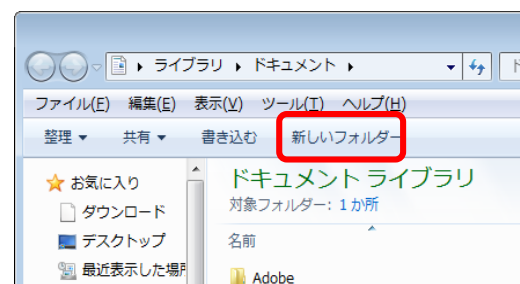


図 4 フォルダ作成(local_html)

2.2 ホームページ・ビルダー18の起動

ホームページ・ビルダー18を起動してください。

- 「スタート」ボタン
 - 「すべてのプログラム」
 - 「ホームページ・ビルダー18」
 - 「ホームページ・ビルダー18」
 - をクリックすると起動できます。
- (図 5)

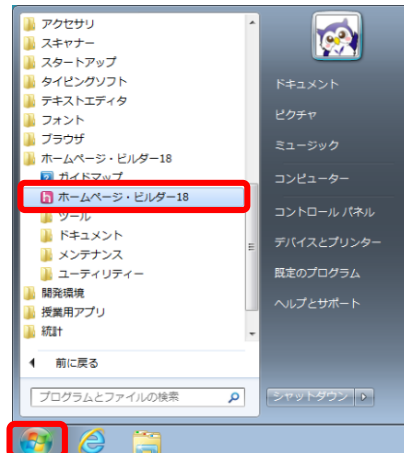


図 5 ホームページ・ビルダーの起動

2.3 新たにページを作成する

(1) 様々な新規作成

ホームページ・ビルダーが起動します。(図 6)

次いで、ホームページ・ビルダーのメニューより、「ファイル(F)」→「標準モードで新規作成(B)」と選択してください。(図 7)ここで、ページの作成が始められます。

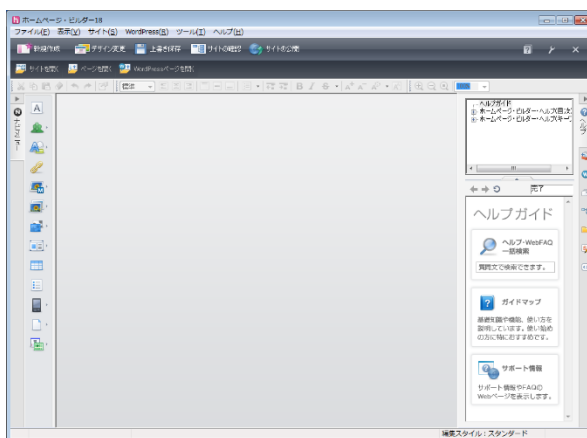


図 6 ホームページ・ビルダー起動画面

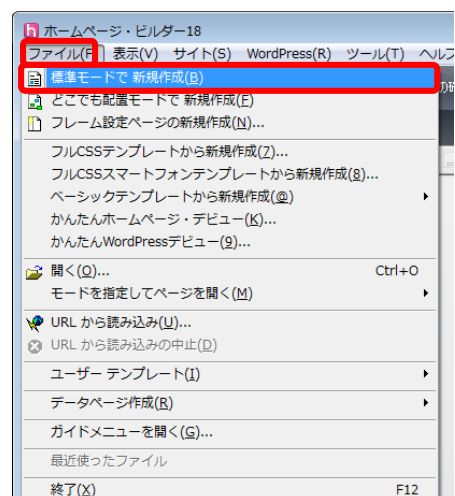


図 7 新規作成

(2)新規作成

ホームページ・ビルダーでは、様々なホームページの形式を設定することができます。ここでは、コンピュータで閲覧する一般的なホームページ作成の手順を説明します。

- ① 画面左上の「ファイル」メニューをクリックして、「標準モードで新規作成(B)」を選択してください。(図 8)

参考:かんたんナビ表示時のかんたんページ作成とサンプルテンプレート

ウィザードに沿って作成を進めることで、ホームページ・ビルダーで用意されている形式のホームページを作成することができます。ホームページ全体の構成が自動的に生成される為、効率的に作成が行えますが、作成されたホームページに変更する場合、このテキストで説明するホームページ・ビルダーの基本的な操作や、HTML についての知識が必要となります。

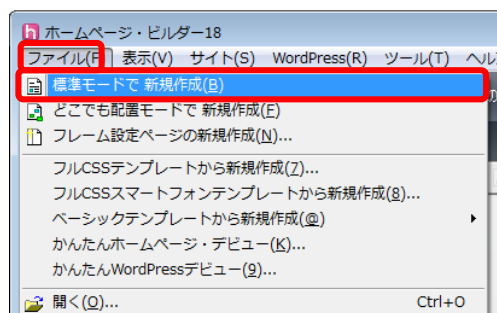


図 8 標準モードで新規作成

- ② 「白紙ページの作成」画面が表示されます。(図 9)

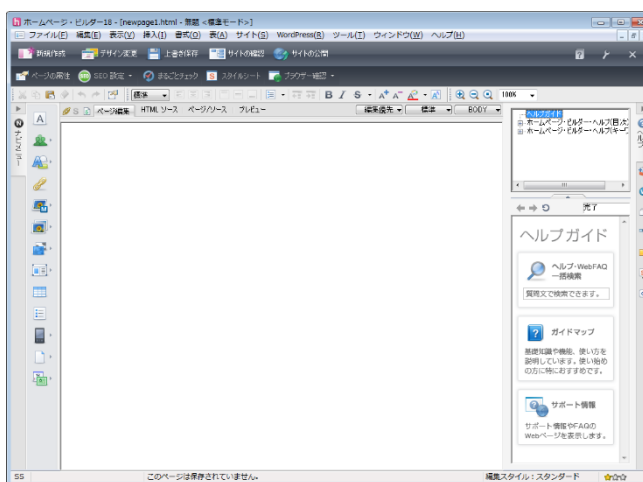


図 9 白紙の新しいページ

2.4 文字の入力(見出しの作成)

はじめにページに見出しをつけましょう。「ページ編集」の画面内で適当な個所をクリックしてください。

- ① 文字を入力すると、通常の文として文字が入力されます。行が選択されている間、ピンクの枠が表示されます。この枠が現在編集している対象あるいはページの「部分」を示し、この枠内の箇所に対して様々な設定を指示することが可能です。(図 10)

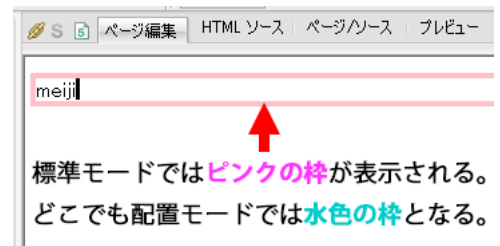


図 10 文字入力画面

- ② 「初めての作成★」と文字を入力してください。文字を入力したら、画面右手に表示されている、「属性」タグをクリックし、その下段に表示される「段落」の中で「見出し 1」を選択してください。(図 11)すると、選択されている部分の文字が「見出し」の「レベル 1」に設定されます。この操作は画面左上のメニューから選択することも可能です。

「見出し」とは新聞の「見出し」と同じ意味で、表示される文字の大きさについての指示とは異なります。

「見出し」がブラウザ上 (Internet Explorer や Google Chrome、Mozilla Firefox など) で、どのような文字・大きさで表示されるかという点については、基本的には Web ブラウザの仕様に依存します。

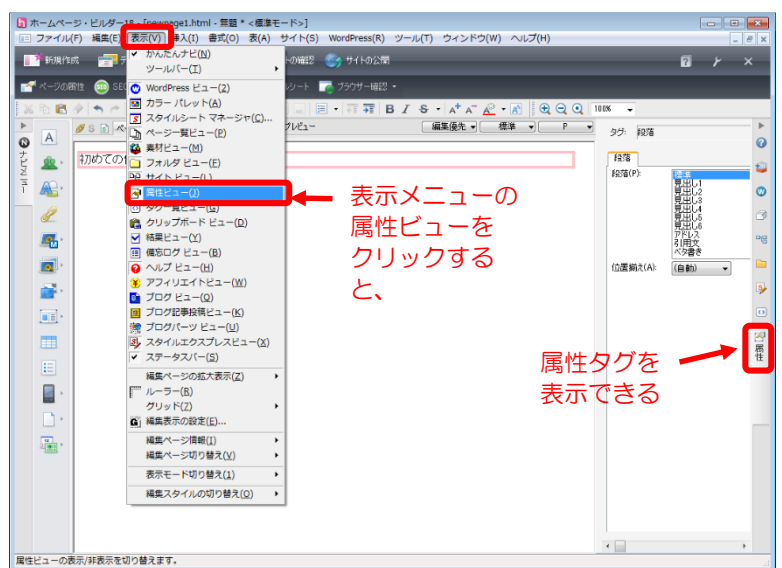


図 11 属性タブで見出しを設定

通常の文を入力している際に、単純に文字の大きさを変更したい場合は、「書式」メニューの「サイズ」を選択し、文字の大きさを変更してください。実際の手順は「付録 A.文字のフォント(書式)の変更」を参照してください。

また「見出し」の変更について画面左上の表示のところでも同じように変更が可能です。(図 12)

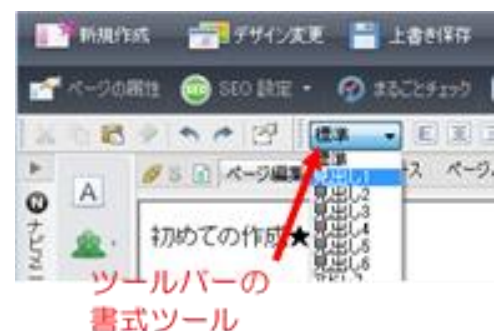


図 12 ツールバーの書式メニュー

2.5 文の入力(段落の作成)

見出しの設定ができれば、通常の文章を入力してみましょう。

まず、2.4文字の入力(見出しの作成)で作成した見出し「初めての作成★」の下をクリック、このとき見出し「はじめて作成」に表示されていたピンクの枠が消えその下から新しい段落ができます。

そこに「これからホームページを作ります。」と入力してみましょう。

(図 13)

ホームページ・ビルダーでは、通常下向きのカーソルキー(矢印キー↓)を押すと、新しい文、段落が開始され、文字(文)入力できます。また、「エンター(Enter)」キーを押すと、行は変わりますが段落が変更になったとはみなされません。見出しにピンクの枠があり、見出し文の末尾にカーソルが残っている場合は、下向き矢印(↓)をクリックしてください。

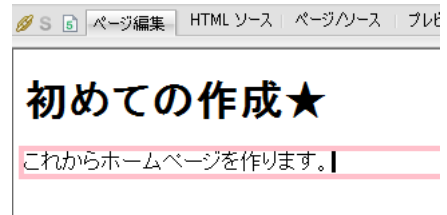


図 13 新しい段落に入力

注意:右端の領域にカーソルがあるとページ編集領域で文字入力できません。かならず一旦編集領域をクリックしてから入力してください。

※文字のフォント(書式)の変更、ロゴの作成箇条書き、表の挿入に関しては付録(23ページ～)を参照してください。

ホームページ作成上の注意点

段落と改行	
「改行」の指示は行を変えるという タグをページに埋め込みます。一方「段落」の変更は<P>タグが埋め込まれます。	
ホームページを作成する際に「使わない方がよい文字」	
世の中には様々なコンピュータがあり、機種によっては表示できない文字(機種依存文字)があります。たとえば、	
丸付きの数字 :	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔ など
組み文字 :	ミ、リ、キ、ロ、チ、セン、メー、グル、ム、トン、ル、ター、トル、ト、ワッ、カ、ロ、ド、セン、バ、ミ、リ、ベ、 mm cm km mg kg cc No. KK TEL (株)(有)(代) 駱 大 正 曜 平 臈 など
そのほか :	半角カナ文字(アイウエオ)、ローマ数字(I II IIIIV i ii iii iv) など
ページを作成する際には、このような文字の使用は避けましょう。	

2.6 水平線の入力

次は水平線（区切り線）を引いてみましょう。

（下向き矢印）を一回押して段落を進めてください。

次に画面左部分に表示されている「ナビメニュー」の「水平線」ボタンをクリックするか（図 14）、画面上部分に表示されている「挿入(I)」メニューの「水平線(Z)」をクリックしてください。

（ 図 15）

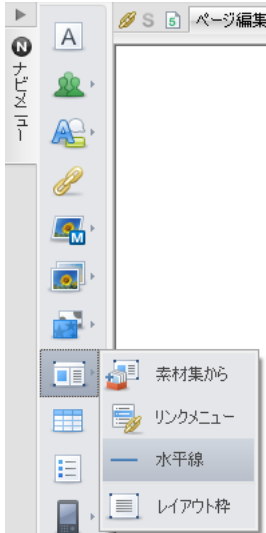


図 14 挿入コマンドで水平線を設置

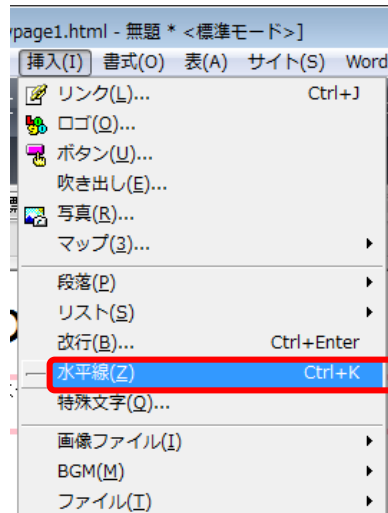


図 15 ナビメニューで水平線を設置

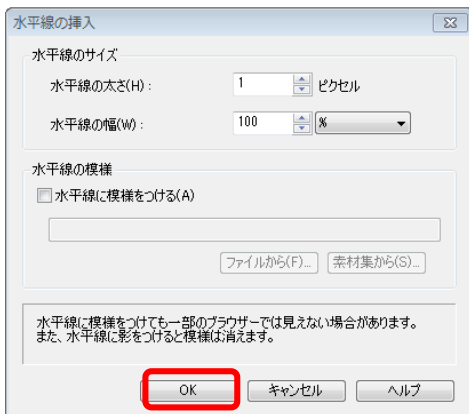


図 16 水平線の例ダイアログボックス

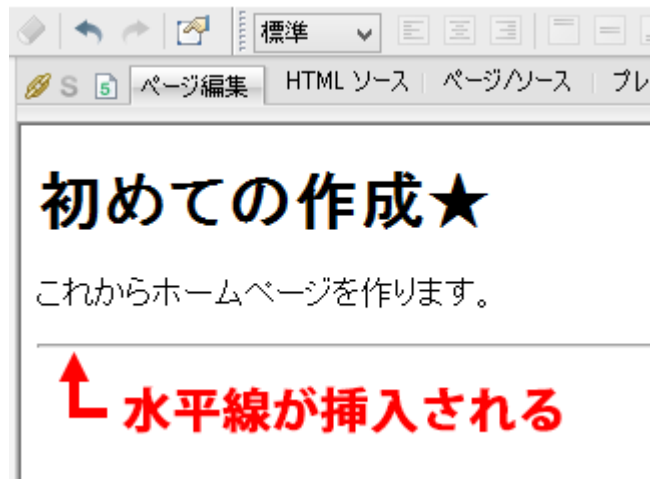


図 17 水平線の挿入

これで水平線を作成できました。（図 16）

2.7.壁紙の挿入

背景にホームページの内容にふさわしい壁紙をつけます。

「挿入」→「画像ファイル」→「素材集から壁紙として」を選択してください。(図 19)

すると壁紙を選択する画面が開きます。この中から好きなデザインを選択して「開く」をクリックします。

ここでは wallppr016.gif を選択しています。(図 18)

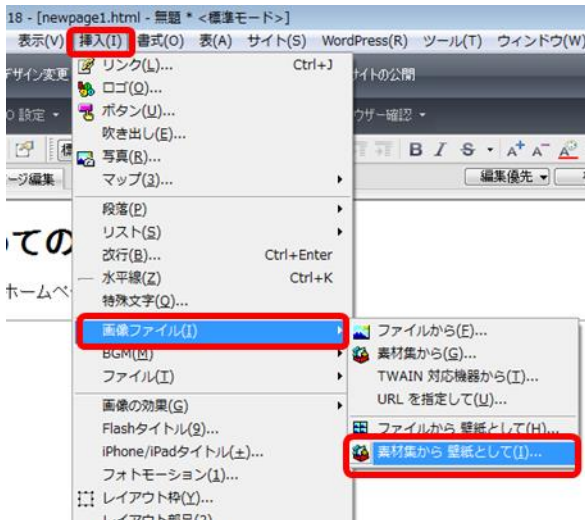


図 18 壁紙選択

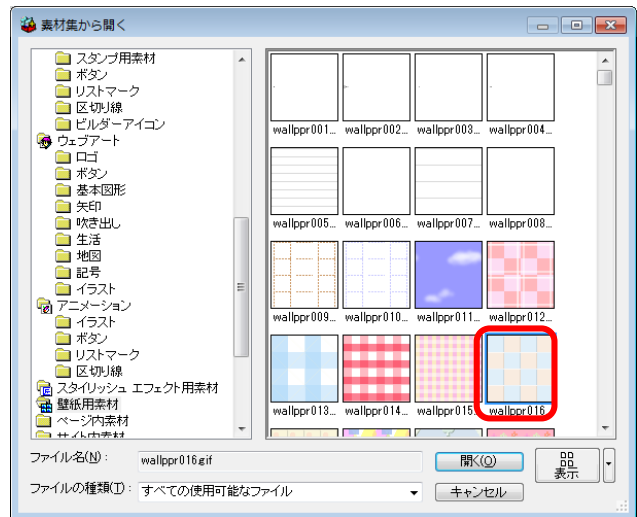


図 19 「素材集から壁紙として」を選択

背景に壁紙が設定されました。(図 20)

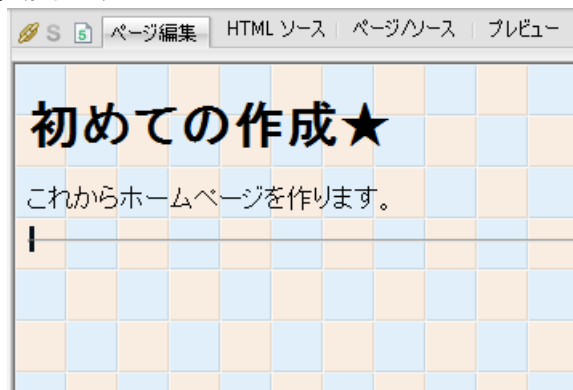


図 20 壁紙挿入結果

2.8 ページにタイトルを付ける

「タイトル」とはホームページ上の名前のことです。
 「見出し」(本文の文頭)とは異なります。(見出しは7ページ図 10～図 11 で作成したものです。)
 画面上何も選択されていない状態で、「編集 (E)」→
 「属性の変更 (A)」を選択してください。(図 21)

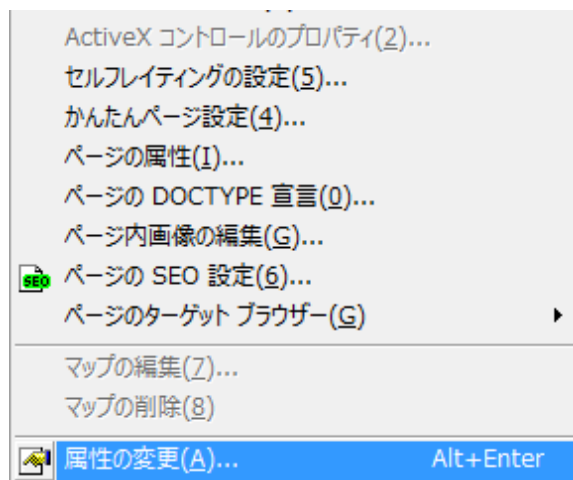


図 21 属性の変更

「属性」画面の「ページ情報」タブにある「ページタイトル(P)」に適当に名前を入力し、「OK」をクリックしてください。(図 22)

ここで入力した文字列が、編集時のページのタイトルになります。(OK をクリック後、図 23 の所に表示されます) この画面上でページの背景色や表示文字の色の変更などを設定することができます。

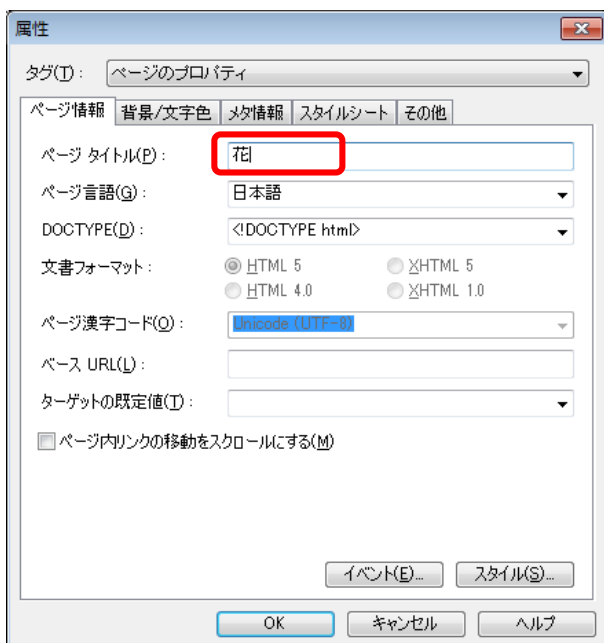


図 22 ページタイトルを入力

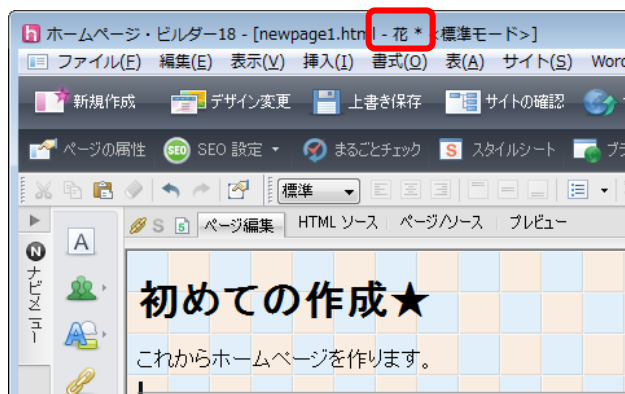


図 23 ページタイトルが表示される

2.9 ページを保存する

画面上部分のメニューバーの「ファイル(F)」
 →「名前を付けて保存(A)」を選択し
 「local_html」フォルダの中へ、「index.html」
 という名前を半角英数で入力し保存してください。(図 24)

※「保存する場所」を指定しないと「マイドキュメント」にページが保存されてしまうので注意してください。

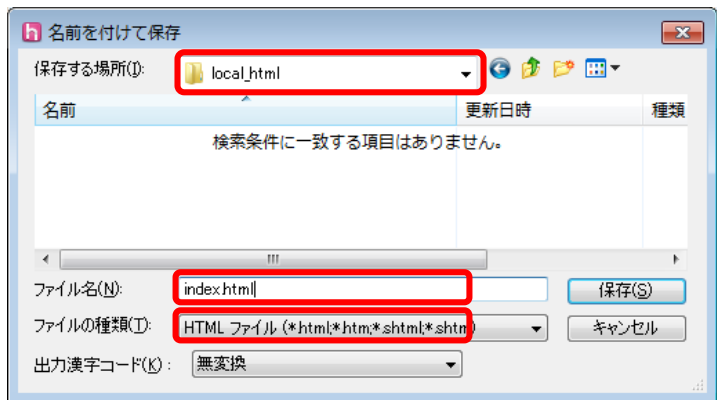


図 24 名前を付けて保存

すると図 25 のように壁紙に使用した画像素材をどこに保存するか確認画面が出てきます。今回は図のように設定し html ファイルと同じ場所に保存します。

注意:

保存したファイルの編集画面を再度開く時は、ホームページ・ビルダーを開いてから行なってください。エクスプローラー上でファイルをクリックしてもファイルの編集画面を開くことはできません。

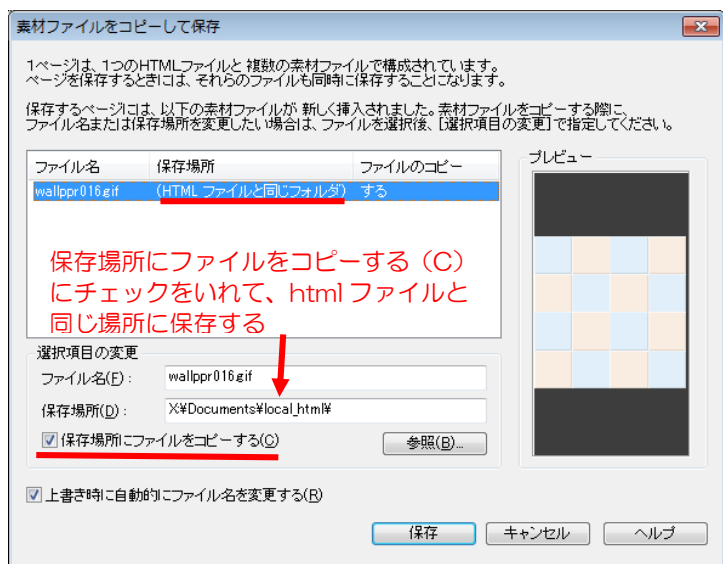


図 25 素材ファイルをコピーして保存

index.html というファイル名について

明治大学で運用している WWW サーバは、あるクライアント(ブラウザ)からページのリクエストを受け取ったときに、ページの名前が省略されていると、「index.html」という名称のファイルを応答します。例えば、「http://www.kisc.meiji.ac.jp/」という要求を受け付けた場合、「http://www.kisc.meiji.ac.jp/index.html」を応答します。WWW サーバでは、ファイル名が省略された場合に、この名前「index.html」というファイルを応答するというような設定がされている場合が多くあります。

abc ファイル名は必ず半角英数で ABC

パソコンではファイルやフォルダの名前には、アルファベットや数字だけでなく、ひらがな、カタカナ、漢字等様々な文字を使うことが可能です。しかし、ファイル名に漢字や記号等を使用すると、FTP ソフトや Web サーバ、パソコンの種類や言語環境によってはページを公開する際に文字化けなど正しく表示されないことがあります。ページや画像・写真に付ける名前は、半角英数字のみを使うよう注意してください。また大文字・小文字の間違いにも気を付けましょう。

2.10 リンクの設定

(1)リンク先の用意

次はリンクの設定をします。最初にリンク先のページを用意します。
リンクとは複数の文書を結び付ける役割を担う「参照」のことであり、ジャンプ先を指定し、別ページに行くことを指します。

「ファイル(F)」メニューから、「標準モードで新規作成(B)」を選択し新しい画面を開いて下さい。
(5ページの 2.3 新たにページを作成する、図 7 を参照してください)

こちらのページは **index.html** からのリンク先として用意するページです。
新規画面が開いたら編集領域に「リンク先のページ」と入力してください。
sub.html という名前を付けて保存してください。(12ページ図 24 参照)

保存できたら、右側の「ページ一覧」タブをクリックしてみてください。(図 26)
現在開いているページの一覧が表示されます。
(編集中のページ欄に **index.html** と **sub.html** という2つのファイルが表示されています。)

複数のページを開いている場合は、この中から編集したいページを選択できます。

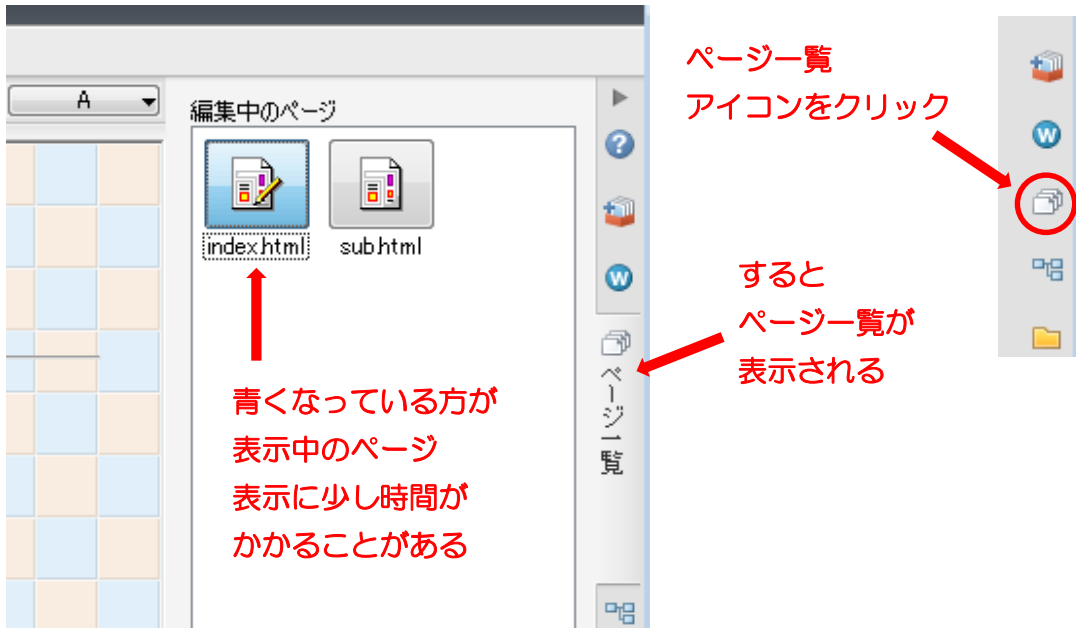


図 26 ページ一覧

ここでは、この「index.html」をクリックしてください。

(2)設定

「index.html」から「sub.html」へファイル移動するためのリンクを設定しましょう。

現在開いている「index.html」の画面上で、先ほど記入した文字の後に、下向き矢印(↓)でカーソルを移動してください。

そこに、「次のページへ」と入力してください。

「次のページへ」の部分を選択(ドラッグ)します。(図 27)
(この「次のページへ」のどこかをクリックした時、別のページへ移動する設定をリンクと言います。)



図 27 リンクする部分を選択する

「挿入(I)」メニューの「リンク(L)」を選択してください。(図 28)

またはナビメニューのリンクの挿入ボタンをクリックしても同様に設定可能です。

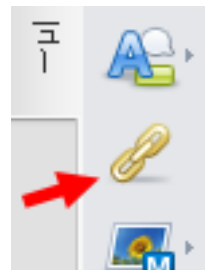
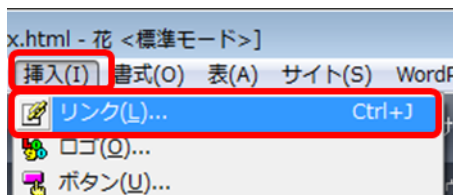


図 28 リンク先の設定

「属性」画面が表示されたら「ファイルへ」タブをクリックし「参照」をクリックします。(図 29)

参考:「ファイルへ」タブはファイルにリンクする時に、「URL へ」タブは他所のホームページへリンクする時に使用します。26ページの B. リンクの設定(URL で指定)を参照下さい。

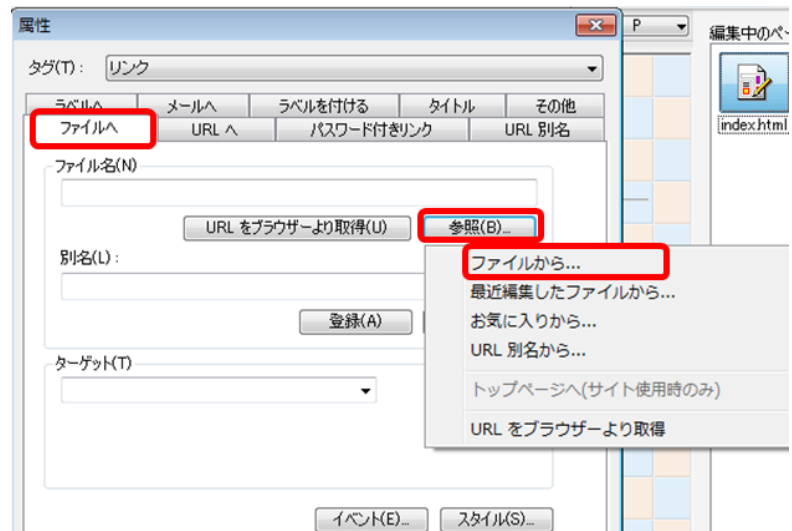


図 29 属性画面で参照設定

「開く」という画面が開くので、「sub.html」を選択し、「開く」をクリックします。(図 30)
 「属性」画面に戻り、「OK」を選択します。

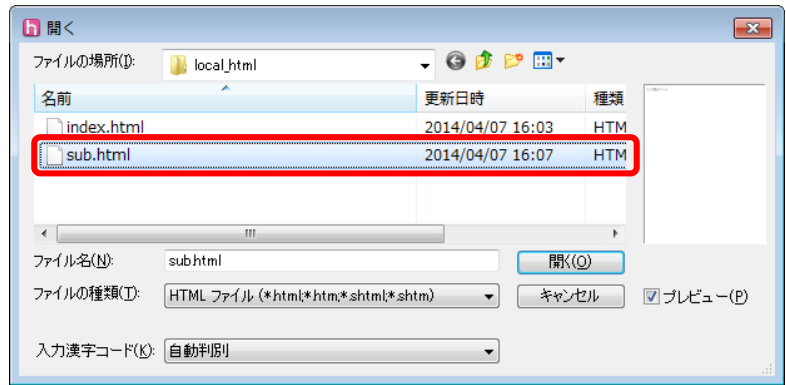


図 30 sub.html をリンク先に選択

すると、先ほど選択した「次のページへ」の箇所に下線が引かれます。
 これでリンクの設定ができました。(図 31)



図 31 リンクを設定すると青字になり下線がつく

正しく設定できたか確認するために「プレビュー」タブをクリックしてください。(図 32)
 すると「ページ編集」画面と同様の画面が開きます。この画面上で「次のページへ」をクリックします。
 先ほど作った sub.html ファイルの画面が表示されれば OK です。

参考: リンクは文字や画像を選択し、マウスの右クリック→メニュー→「リンクの挿入(L)」を選択しても同様の設定ができます。

注意: ページ編集を続けるにはページ編集タブをクリックして編集画面に戻ってください。プレビュー画面では編集はできません。(図 33)



図 32 プレビュー画面で確認

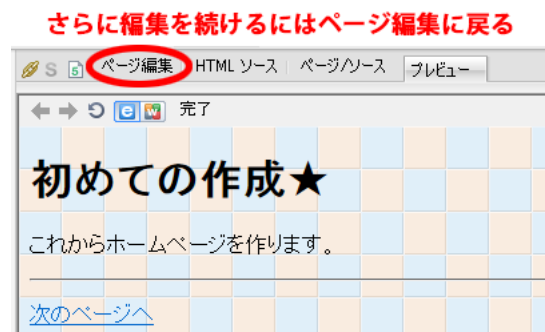


図 33 編集するときにはページ編集へ

2.11 画像の挿入

次は画像を挿入しましょう。

今回はホームページ・ビルダーに添付されている素材集の画像を使用します。

画像を挿入したい場所にカーソルを移動し、ピンクの「枠」が表示されていない状態にしてください。

「挿入(I)」メニューの「画像ファイル(I)」から「素材集から(G)」を選択してください。(図 34)

参考:ナビメニューの  ボタン(画像ファイルの挿入)をクリックしても同様です。

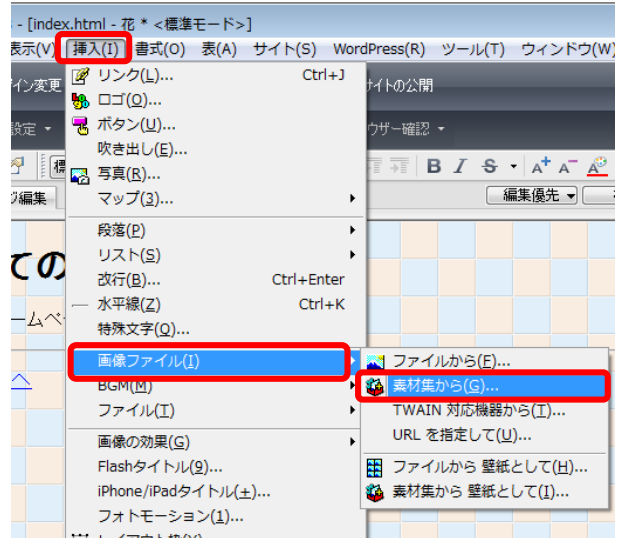


図 34 画像の挿入

「素材集から開く」画面が開きます。

左側のフォルダから「画像」→「イラスト」→「植物」をクリックし好きな画像を選択したら、「開く」をクリックします。(では img_h015.gif を選択しています。)(図 35)

カーソル位置に画像が挿入されます。(図 36)

※画像の大きさを変えたい時:

画像を選択し画像の四隅に表示される四角いハンドルをマウスの左クリックで操作しながら調節してください。

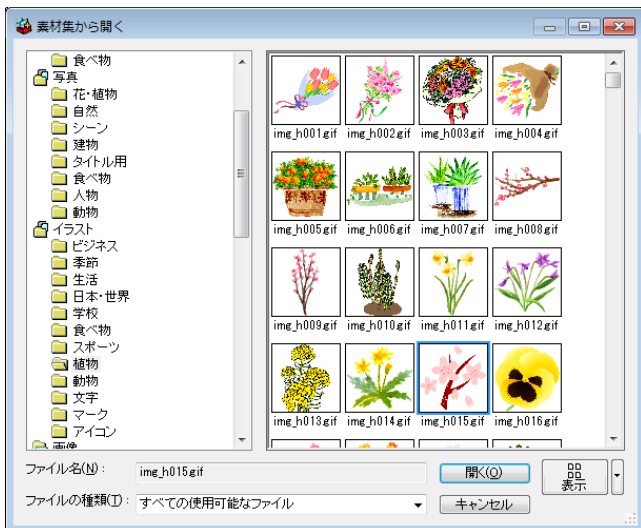


図 35 画像の選択



図 36 画像が表示される

参考:

ホームページ・ビルダー18 で使用できる画像ファイルは

GIF(拡張子. gif) :読み方はジフなど。容量が軽い色が256色までしか使用できない。

JPEG(拡張子. jpg) :読み方はジェイペグなど。容量・画質ともそこそこで扱いやすい。

PNG(拡張子. png) :読み方はピングなど。容量が軽く画質も JPEG より良いが古いパソコンでは表示できない場合がある。

BMP(拡張子. bmp) :読み方はビットマップなど。容量が重くなることもある。

などの特徴があります。

必要に応じて使い分けましょう。

【ホームページに画像を掲載する際の注意】

ホームページ作成時には使用する画像データの「著作権」に十分気を付けましょう。

また、自分で撮影した写真でも個人を特定できる第三者が写っている場合は「肖像権」に触れる事があります。

友達や知り合いの写真に掲載する場合は必ず本人に確認を取りましょう。

2.12 ページの保存(画像ファイルも合わせて保存する)

では、すべてを保存しましょう。

「ファイル(F)」メニューの「すべて保存(V)」を選択してください。すると、13ページの時と同様に図 24 の画面が表示されます。

先ほど挿入した画像をどこに保存しますか?と、尋ねてきます。

ページと画像は必ず全て local_html フォルダの中に保存します。

図 37 のように、保存場所に『(HTML ファイルと同じフォルダ)』が指定されている場合、画像は local_html フォルダに保存されません。

「上書き時に自動的にファイル名を変更する」にチェックをして保存をクリックしてください。

画像ファイルの名前を変更する必要がある場合には、ホームページを作成する前に変更しておきましょう。

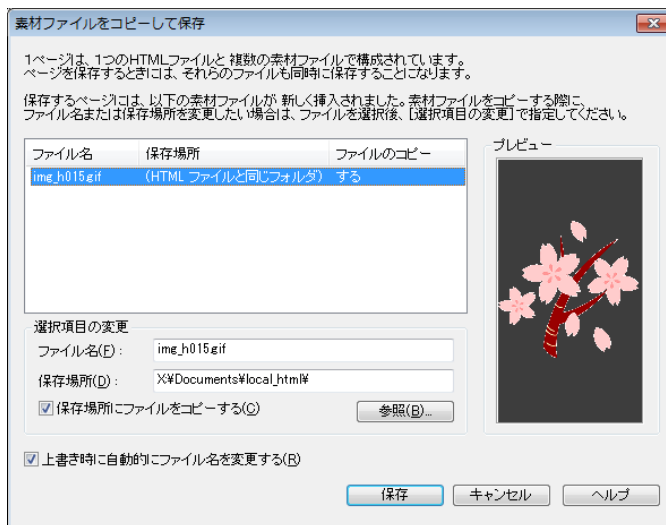


図 37 素材ファイルをコピーして保存

注意:ファイル名は半角英数字です。(半角カナや全角は使わないでください。)以上でホームページの作成は終了です。

では、これらのページをサーバへ転送し、実際にブラウザで表示してみましょう。

3. WWW サーバへのアップロード

3.1 .ページのアップロード(転送と公開)

次に、作成したホームページを公開します。
作成したホームページはサーバへ転送して、初めて公開されます。

FFFTP というファイル転送ソフトを使って **suruga2** というサーバに転送することでホームページとして公開されます。

「スタート」メニューから「プログラム」を選択し、「FFFTP」を選択します。(図 38)



図 38 FFFTP 起動

ホスト一覧の画面が開くので、ここで転送先のサーバ(suruga2)を指定したら、「接続」を選択してください。(図 39)

参考: 接続先のことをホストと呼びます。ここではホストは Web サーバのことを指しています。

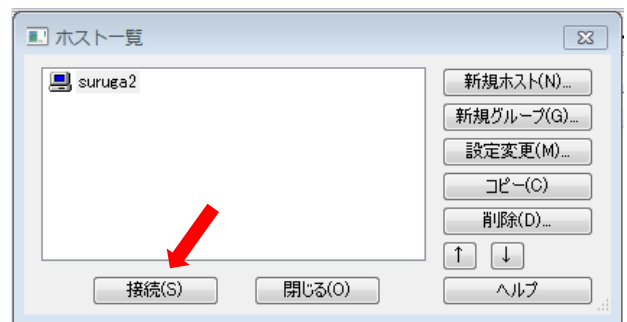


図 39 サーバーに接続する

次に自分のユーザーID、パスワードと順に入力した後「OK」をクリックします。この時「anonymous (A)」の欄にチェックを入れないでください。(図 40)

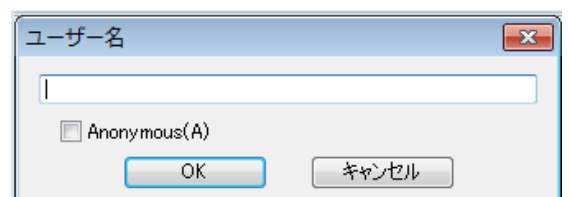


図 40 ユーザーID を入力

suruga2 に接続すると以下のような画面になります。(図 41)

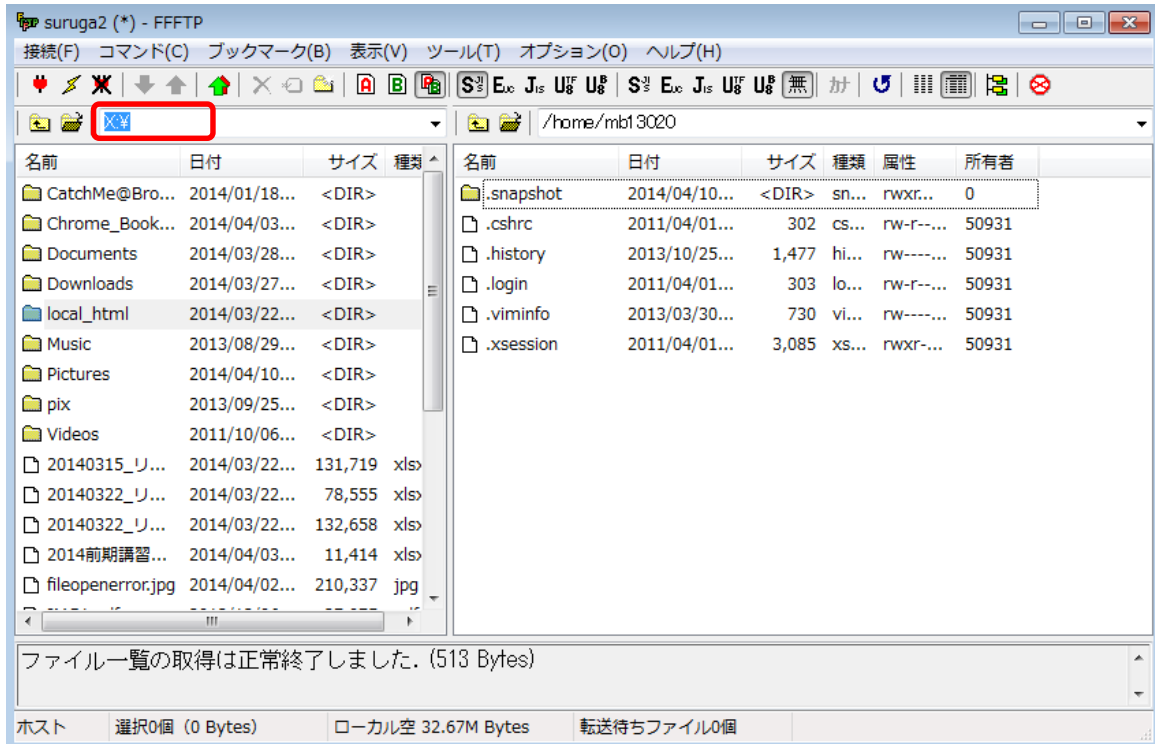


図 41 local_html をアップロード

まず、赤く囲んだ画面左側のフォルダを「X:¥」(MyDocs の場所)に変更します。

表示された左のフォルダ一覧の中から local_html フォルダを選択し (アップロードボタン) をクリックします。アップロード処理中、状況を表示する画面が流れます。

注意: となりの (アップロードボタン) はミラーリングと言って左側に表示されているものを全て右側にコピーするボタンです。間違えると少々やっかいなので気を付けましょう。

注意: local_html フォルダに不必要なファイル、例えばバックファイル(.bak)などがある場合、あらかじめ転送前に削除して下さい。

下の図 42 のように local_html フォルダが右側にコピーされていれば転送完了です。

最後に(切断)ボタン を押し FFFTP を終了します。

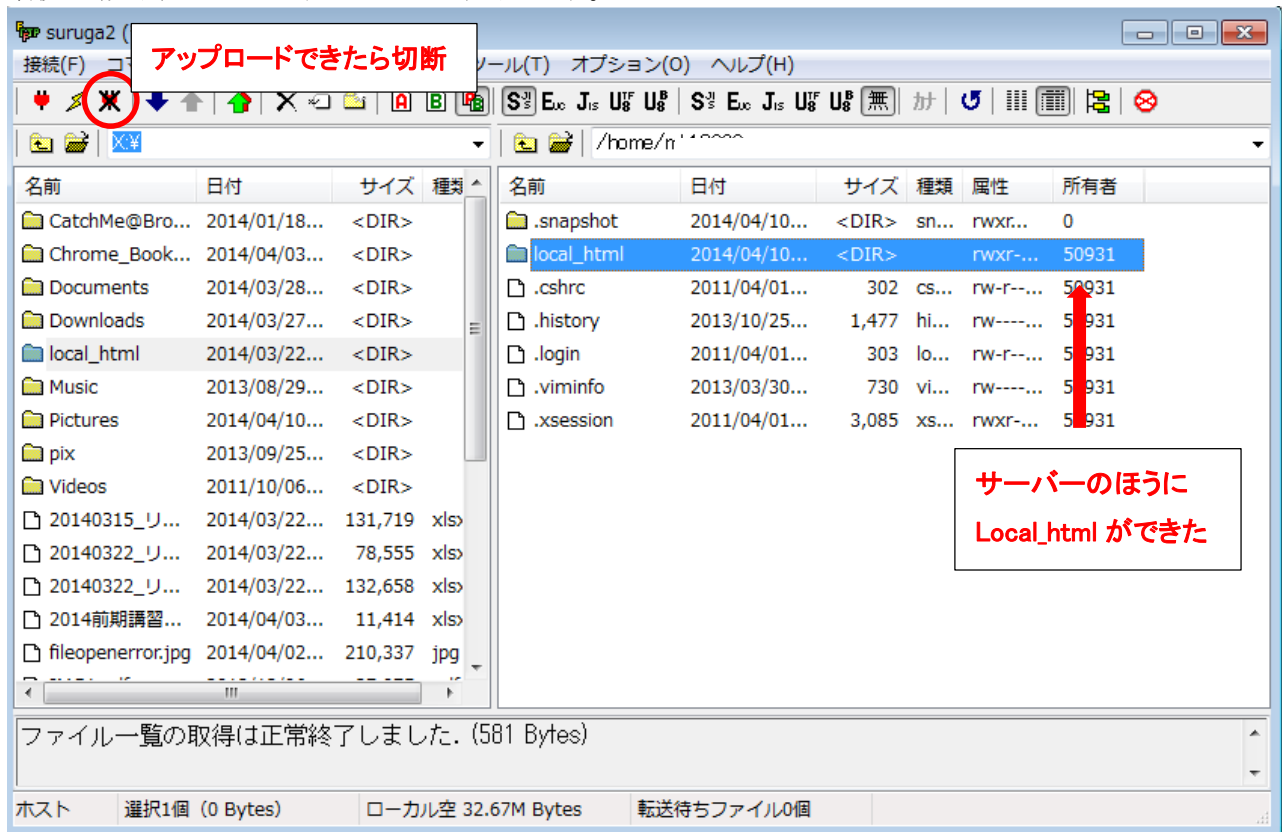


図 42 アップロード完了

参考: 下図に FFFTP 画面の主な場所の解説です。

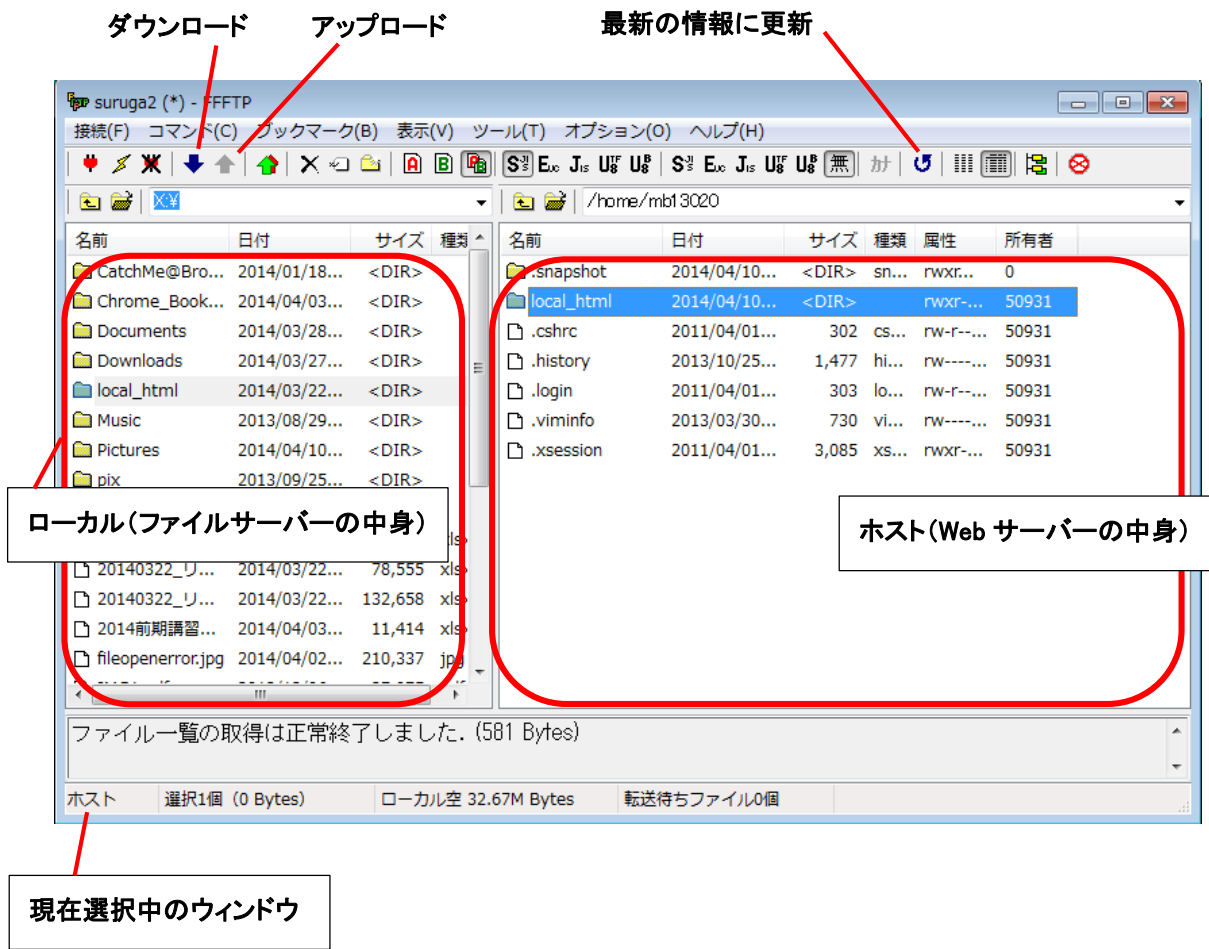


図 43 FFFTP の解説

3.2 作ったホームページをブラウザ上で見る

Web ブラウザ (Internet Explorer か Google Chrome) を立ち上げて、アドレス (D) 欄に下記アドレスを入力しエンターキーを押してください。

学校内のみ公開する場合: <http://local.kisc.meiji.ac.jp/~ユーザーID/>

自分が作ったホームページが表示されましたか？

正しく転送されていれば下記のように自分が作ったホームページがブラウザ上に公開されます。



図 44 完成図

このページは local として公開されているため、学外から閲覧することはできません。

学校外へ公開する場合は local_html フォルダを public_html フォルダという名前に変更することで可能となります。

その際の URL は下記です。

学校外にも公開する場合: <http://www.kisc.meiji.ac.jp/~ユーザーID/>

講習は以上です。

最後に、ホームページ・ビルダーなど、立ち上がっているソフトウェアをすべて終了してください。

また、ログオフもお願いします。お疲れ様でした。

4. 付録

A.文字のフォント(書式)の変更

文字の色や大きさ、形を変更します。

「はじめて作成★」の文字列のうち、「作成」の文字だけ大きくし、色を変えてみましょう。

変更したい文字列をクリックし(図 45)、「作成」の文字のみ選択(ドラッグ)します。(図 46)

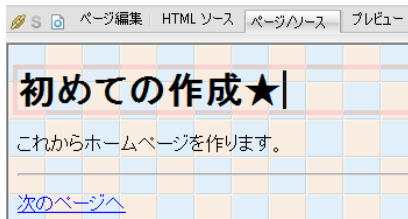


図 45 文字列をクリック

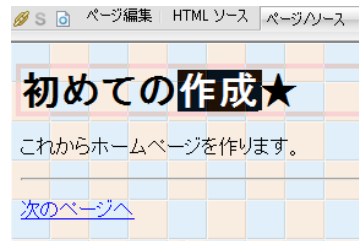


図 46 部分選択

メニューバーの「書式(O)」→「フォント」をクリックします。(図 47)

フォントの設定画面が表示されたら、色指定(C)やサイズ(I)などを適当に変えてみましょう。

サンプル欄に変更した文字が表示されます。

ここでは色:赤、サイズ:7、斜体の設定をしました。(図 48)

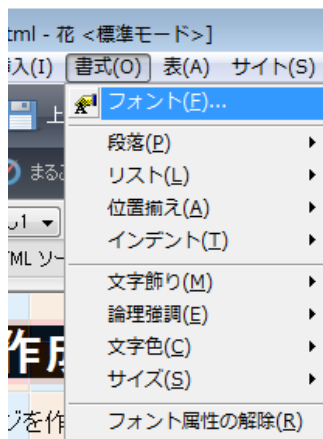


図 47 フォント

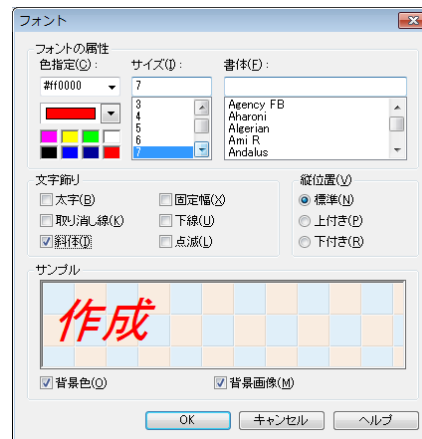


図 48 フォントの設定

よければ「OK」をクリックしてください。

右図のように文字のフォントの変更ができました。(図 49)



図 49 フォントの設定が変更される

またフォントの変更はツールバーのボタンを操作することで Word のような編集ができます。



左から、太字、斜体、打ち消し、文字サイズ拡大、文字サイズ縮小、文字色変更、フォントの変更



左揃え、中央揃え、右揃え

となります。

文字を選択する時の注意:

文字列にピンクの「枠」が表示されている時は段落が選択されています。
この状態で右クリックし、メニューの「属性の変更(A)」を選択すると「段落」に対しての属性指定になってしまい、文字の色や形状の変更はできません。必ず文字をドラッグ(選択)してからフォント設定を行ってください。
(どこでも配置モードの場合は水色の枠です。)

文字の大きさの指定について:

文字の大きさは、1～7 までの数字、あるいは、-2～+4 の割合で指示します。
特に指示がない場合、文字の大きさは3(0)になります。
ただし、大きさの違いは実際にブラウザで表示しないとわかりませんので、注意してください。

B.リンクの設定(URL で指定)

リンク先にインターネット上の別のホームページを指定します。
 リンクを設定したい文字列「次のページへ」をドラッグして右クリックし、
 「リンクの設定(L)」を選択します。(図 50)

参考:「メニューバー」の「挿入」→「リンク」、


または  (リンクの挿入) ボタンでも同様の操作ができます。



図 50 右クリックメニュー

「属性」画面で「URL へ」タブをクリックします。

URL(R)欄にリンク先の URL を入力してください。

最後に OK をクリックします。(図 51)

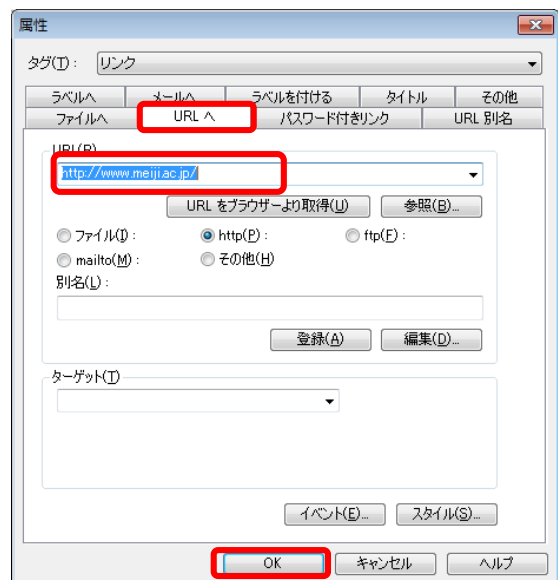


図 51 URL を指定する

参考:

リンク先の URL はブラウザのアドレスを事前にコピーしておくといでしょう。
 その際下記のショートカットを使うと便利です。

コピー : [Ctrl] キー + [C]

(コピーしたい部分を選択した状態でコントロールキーを押しながらアルファベットの C を押す)

貼り付け : [Ctrl] キー + [V]

(コピーを張り付けたい部分をクリックしてコントロールキーを押しながらアルファベットの V を押す)

C.表の挿入

表を挿入したい場所にカーソルを移動してください。

「表(A)」メニューの「表の挿入(B)」を選択します。

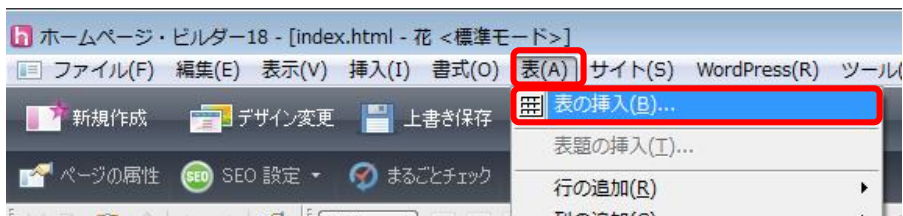



図 52 表の挿入

または  (表の挿入) ボタンをクリックしても同様です。

「表の挿入」画面が表示されます。

ここで行数、列数を適当に指定して OK をクリックすると画面上に表が挿入されます。(図 54)

最初にクリックしたカーソル位置に四角い枠が指定した数だけ表示されます。

枠をクリックし文字を入力してください。(図 53)

参考:

表の中には画像も挿入できます。

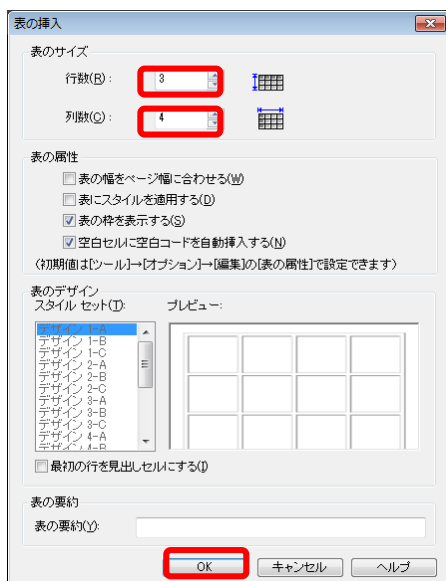


図 53 行数、列数を指定する

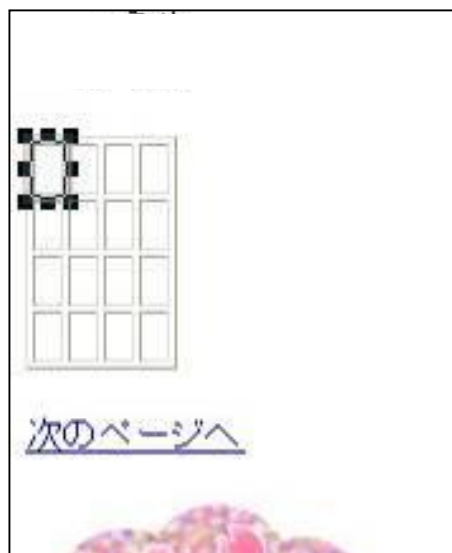


図 54 表が挿入される

D.ロゴの作成

「ロゴ」は以下の手順で作成します。

ロゴを入れたい箇所にカーソルを移動してください。

ここでは「はじめて作成☆」の下にカーソルをおきます。

メニューから挿入→ロゴを選択してください。(図 55)

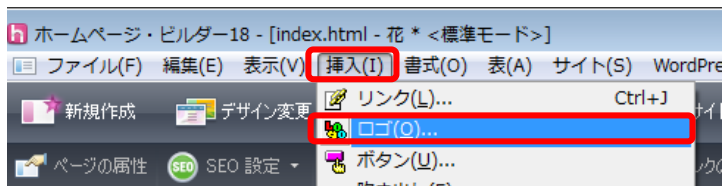



図 55 ロゴの挿入

または  (ロゴの挿入) ボタンをクリックします。

「ロゴの作成」画面が表示されるので、文字(I)欄に適切な文字を入力し、文字の大きさ、文字の形状を選択してください。(図 56)

プレビューで確認し、良ければ完了をクリックして下さい。

カーソル位置にロゴが設置されました。(図 57)

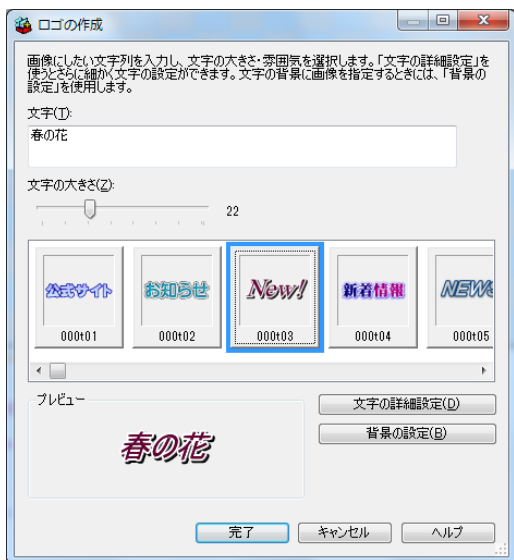


図 56 ロゴの作成画面

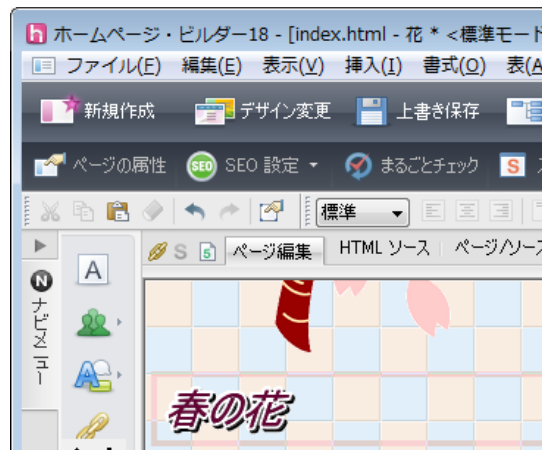


図 57 ロゴが設置される


E. 箇条書きの作成

今度は箇条書きを作成してみましょう。

まず、カーソルを移動しピンクの枠が表示されていない状態にしてください。

箇条書きの種類は、番号なしの箇条書き（● □ ・ などが先頭に表示される）、番号付きの箇条書き（1, 2, 3・・・など）などがあります。

箇条書きは、「挿入(I)メニュー → 「リスト(S)」と選択し箇条書きの種類の番号なしリスト(B)を選択します。

または  ボタンでも同じ操作ができます。

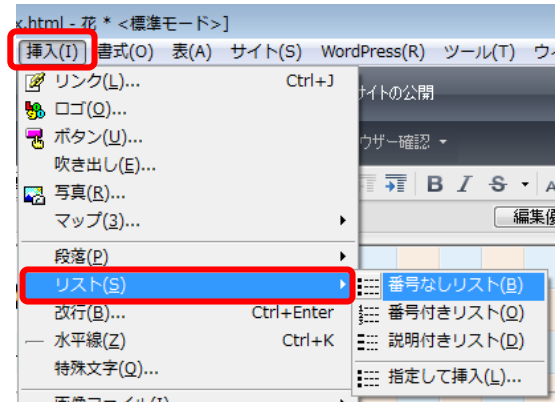


図 58 箇条書きの入力

「番号なしリスト(B)」を選択するとカーソル位置に「・」が表示されます。

カーソルの点滅している所から「さくら」と入力し、「Enter」キーを押してください。

すると、2番目の文が入力できるようになります。

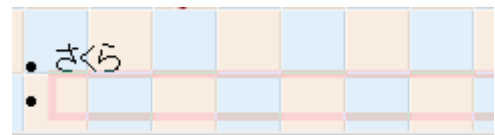


図 59 入力例

箇条書きは、この操作の繰り返しで必要な分だけ入力します。

続けて「うめ」、「もも」と「Enter」キーで改行しながら入力してみましょう。

F. サイト機能を使ってホームページを作成する。

ホームページ・ビルダーにはサイト機能があります。これはホームページの中で使われるファイル、画像などをまとめて管理(保存)し、サイト単位でファイルの読み込みなどができる機能です。サイトを作成する場合は新たに「ホームページ・ビルダー18」を立ち上げてください。

1. サイトを新規作成する。

上部タブより「サイト」→「サイトの新規作成」を選択してください。

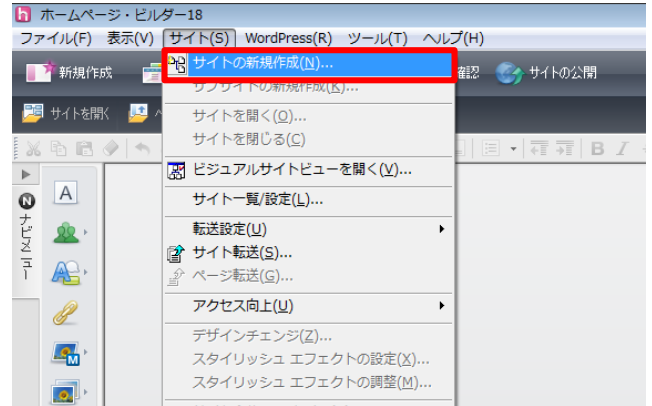


図 60 サイトの新規作成

サイト名を入力(サイト名は自分の好きな名前です！ ページタイトルとなります)→「次へ」をクリック(図 61)、「新規にトップページを作成する」をクリック→「次へ」をクリック

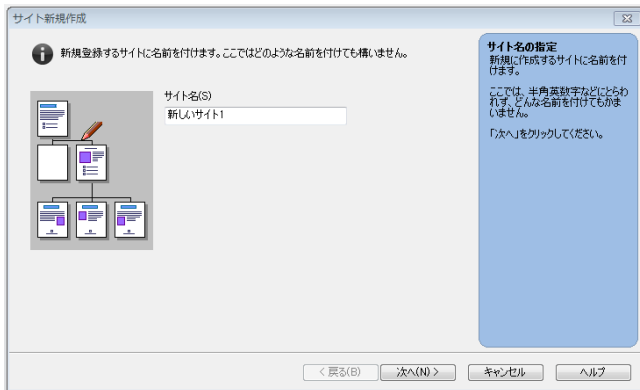


図 61 新規にトップページを作成

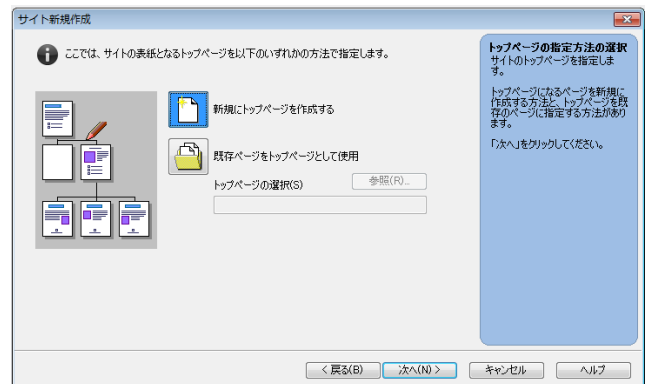


図 62 サイト名を決める

トップページのファイル名(P)欄で「index.html」を選択し、「参照(B)」をクリック
 フォルダの選択画面が表示されるので、サイトを作成する場所を指定する。
 学内の場合マイドキュメント(X:¥)の中の local_html フォルダを指定したら「OK」をクリック。
 (local_html フォルダは4ページで作成済み) 図 63 の画面に戻るのでサイト新規作成に戻り「完了」をクリック

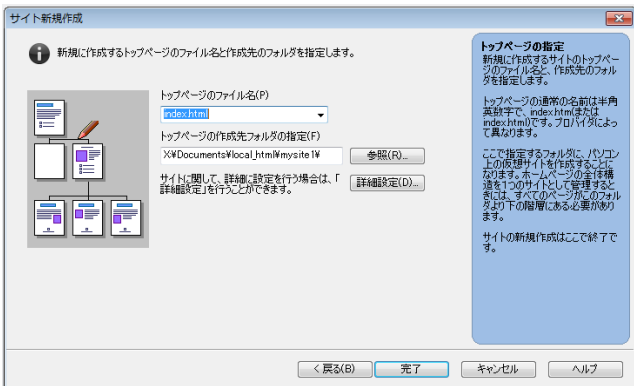


図 63 index_html を作成

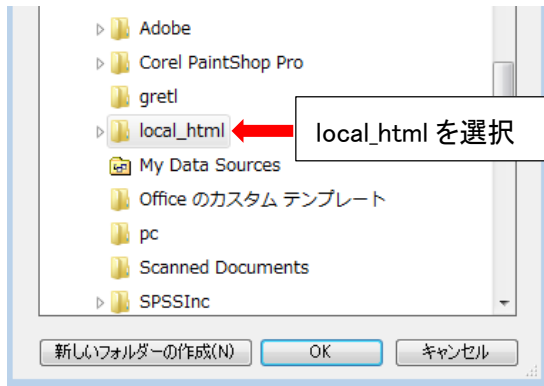


図 64 local_html フォルダを選択

「ページ作成方法の選択」という画面が表示されますが、今回は「白紙ページ」を選択してください。

これはカスケーディングスタイルシート(CSS)の設定ですが、今回は省略します。もう少しホームページやインターネットの知識が身に付いたら試してみてください。



図 65 ページ作成方法の選択

これでサイト作成完了です。
 このサイトに html ファイルを追加していくことでホームページを作成していきます。
 (転送設定のメッセージが表示されますが、「いいえ」をクリックしてください。)

2. サイト作成後、html ファイルの作成方法は 5～18 ページを参考にしてください。
今回は以下のような 3 つのhtmlファイルを作成してみました。

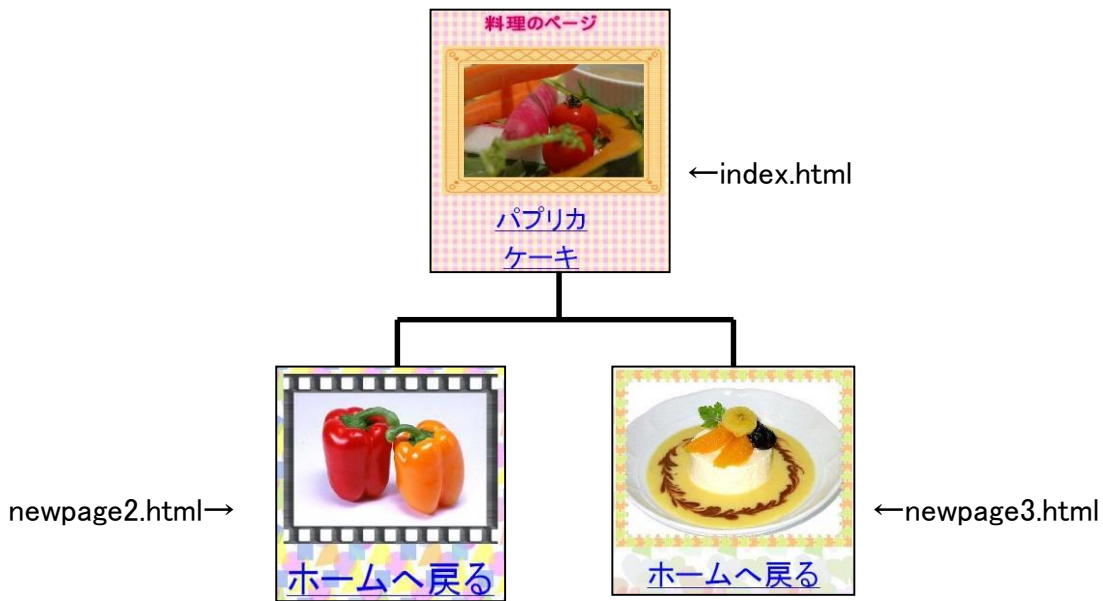


図 66 新規サイト制作例

3. 作成したファイルをサイトに保存する

「ファイル」→「すべて保存」を選択する。

全てのファイルが local_html フォルダ内に保存されます。

参考までにマイドキュメントの中の local_html フォルダを開いてください。

ここでは上の 3 つの html ファイルを作成しましたが、フォルダにはそれに付随する複数のファイル(画像など)が自動的に保存されています。

これらのファイルが別のフォルダに保存されてしまうとホームページ更新時に画像が表示されない等の不具合が生じます。

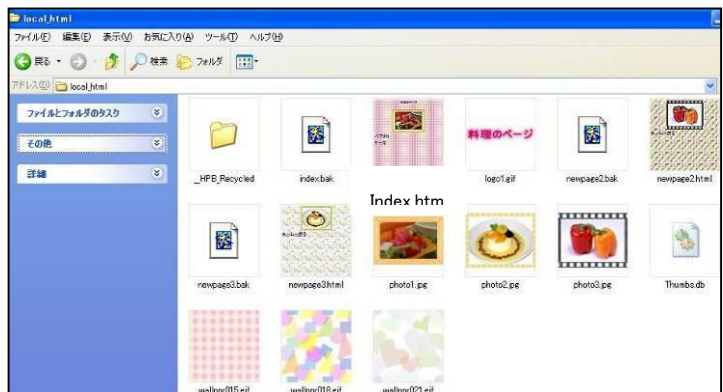


図 67 local_html フォルダを開いた画面

4. サイト単位でファイルを読み込む

作成したファイルをサイト名でまとめて読み込むことができます。
メニューバーの「サイト」→「サイトを開く」を選択。

新しいサイト1 (1.で自分で入力したサイト名) を選択→「開く」をクリック(図 68)

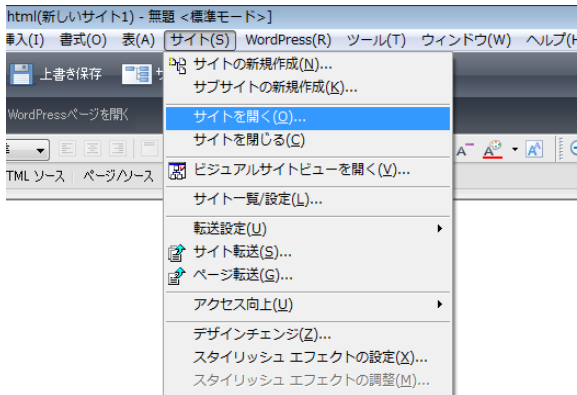


図 68 サイト単位でファイルを読み込む

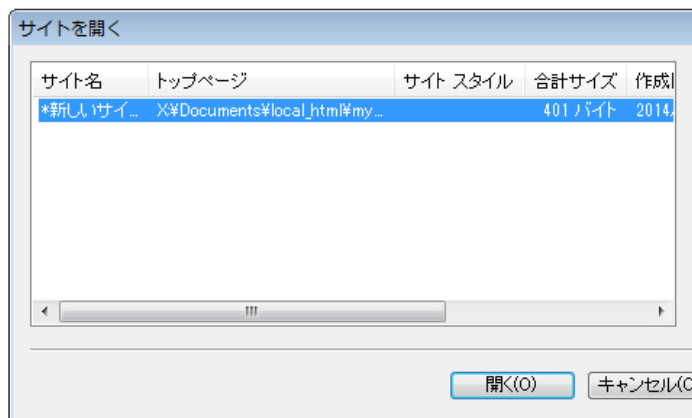


図 69 サイトを開く

メニューバーからサイトメニューを開くと、下記のような「ビジュアルサイトビュー」が開き、サイト内のリンク構造が表示されます。
編集したいファイルをダブルクリックすると編集画面が開きます。

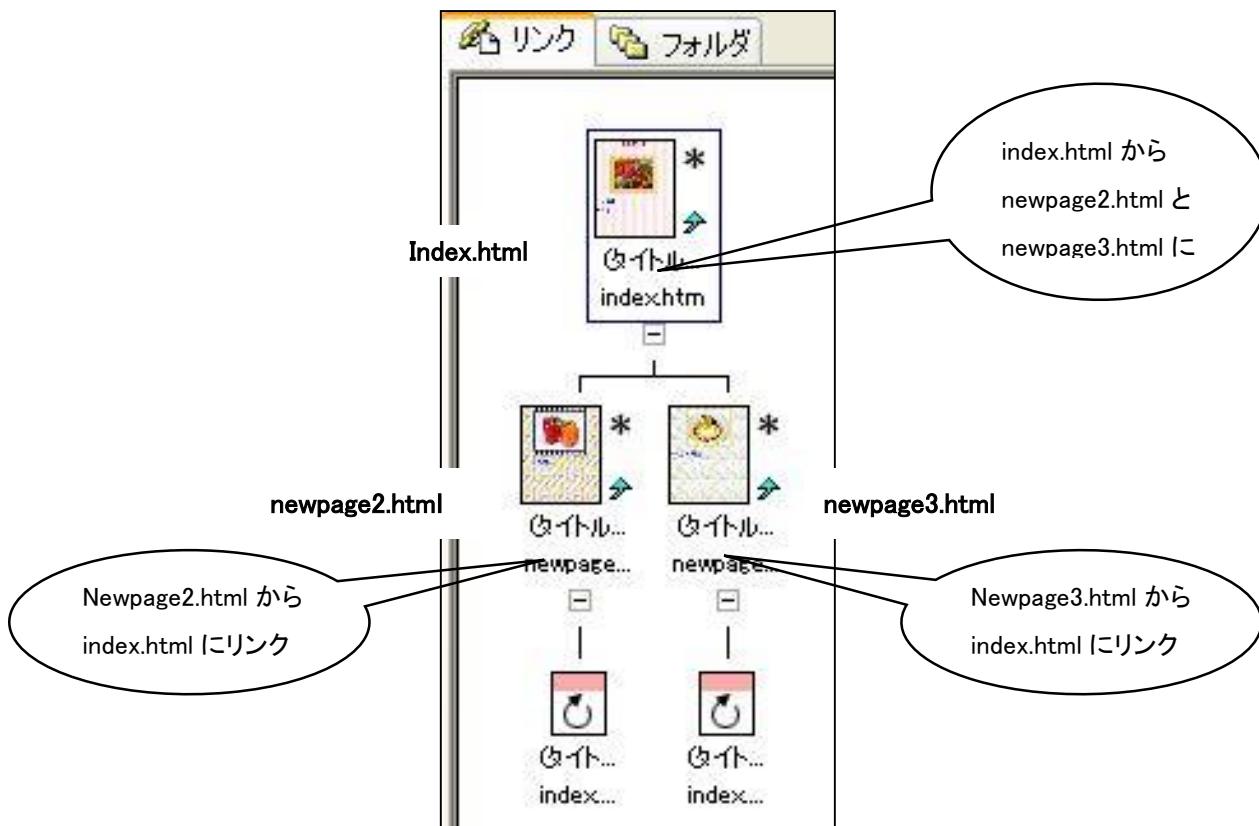


図 70 ビジュアルサイトビュー

5. ファイルの転送、ページの公開は19～21ページを参考にしてください。